

2017年11月7日

「第11回 ASPIC IoT・クラウドアワード 2017」において IoT・AI部門で『総合グランプリ』および『委員会賞』を受賞

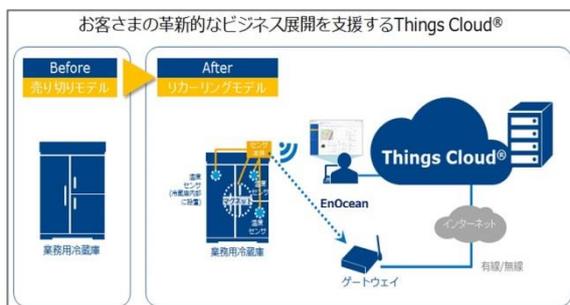
NTT コミュニケーションズ(以下:NTT Com)の IoT 向けアプリケーション開発基盤である「Things Cloud[®]」は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム(以下:ASPIC)が2017年11月7日に発表した「第11回 ASPIC IoT・クラウドアワード 2017」において、『IoT・AI部門総合グランプリ』を受賞しました。また、「COTOHA[®]シリーズ」も『IoT・AI部門委員会賞』を受賞しました。

『IoT・AI部門総合グランプリ』を受賞した「Things Cloud[®]」は、デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理など IoT の導入に必要な機能・プロセスを、多彩な機能やさまざまなシーンを想定したテンプレートなどにより、ノンプログラミングで簡単・短時間で実現できるプラットフォームです。

今回、IoT・AI部門において、最も優秀なサービスであると総合的に評価され、受賞に至りました。(図1)

また、『IoT・AI部門委員会賞』を受賞した自然言語を理解する「COTOHA[®]シリーズ」は、インタラクティブな対話や業務処理を行う「Communication Engine "COTOHA[®]"」、チャット形式で自己解決をサポートする「Semantic Search Engine "COTOHA Chat&FAQ[™]"」、人間に迫る高い精度の翻訳を実現する「AI翻訳プラットフォーム」など、NTT 研究所が40年以上に亘り蓄積・精練した日本語データベースや高精度の日本語処理技術などを活用することで、日本語を最高水準の精度で理解することが可能な AI(人工知能)サービス群です。

今回、審査委員会が推薦する優秀なサービスとして受賞に至りました。(図2)



(図1) Things Cloud[®]



(図2) COTOHA[®]シリーズ

■受賞内容

『IoT・AI 部門総合グランプリ』

『IoT・AI 部門委員会賞』



(参考)「ASPIC IoT・クラウドアワード 2017」の概要

「ASPIC IoT・クラウドアワード 2017」は、IoT・クラウドサービスが社会の情報基盤としてさらに発展・確立することを目的として、日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウド・IoT サービスを表彰し、IoT・クラウド事業者並びにユーザー企業の事業拡大を支援するものです。